

# 西小の窓

苫小牧西小学校 学校便り No.3 令和8年5月29日

西小の合言葉

「挨拶」「返事」「感謝」「笑顔」

学校教育目標 ○剛く(ひとりだちの心) ○正しく(めあてに向かう心) ○優しく(思いやる心)

西小  
150周年  
正しく、優しく  
歌の学校  
未来へはばたけ  
西小学校

## To teach is to learn twice.

校庭の草木の成長が著しく、校舎の周りはずっかり緑にあふれてきました。5、6月は自然の勢いが強く感じられるとともに、昼間の時間が長いということがあり、個人的にいちばん好きな季節です。

さて、珍しく英語で主題を記しましたが、”To teach is to learn twice.”(教えることは、二度学ぶことである)は、ジョセフ・シュベール(哲学者)の言葉です。20年以上前、私の姉からもらったマグネットプレートに書いていたのを見たことが、この言葉との初めての出会いでした。その時は、「子どもに教えることは、教師の専門家としての学習になる」という意味で、教師であった私の成長を姉なりに期待した言葉だったとだけ思っていました。

そして、20年以上経過した現在、この言葉は「教師が教えることは、二度学ぶことである」ということから、「子どもが教えることは、二度学ぶことである」と主語を子どもに変えた方が、よりよいと思えてくるようになりました。例えば、本校の第6学年の子どもたちは、第1学年の子どもたちに、朝の時間などに様々な支援(お世話)をしています。現在では自分で当たり前のようにできるようになったこと、保護者や教師から言われ「分かったつもり」になっていたことなどを自分の言葉で説明することを通して、うまくいった場合又は失敗し、試行錯誤した場合においても、次のような力が身に付くことが期待できます。

- ・「(今まで身に付けた)自分の知識を整理すること」
- ・「(ぼんやりしたことでも)言語化し、説明すること」
- ・「(何を求めているのかを考えるなど)相手意識をもって対応すること」
- ・「(自分の言動に)責任をもつこと」
- ・「(生活に役立つよう)理解したことを応用すること」



現在の第6学年の子どもたちが、昨年度末(3月頃)と比べ、著しく成長した様子が見られるのは、第1学年の子どもたちへの支援を通して、学びを深めているからだと言えそうです。

一方で、教えられる第1学年の子どもたちにも、次のような効果が得られることが期待できます。

- ・「(年齢が近い)質問しやすいこと」
- ・「(教師より感覚が近い)説明が理解しやすいこと」
- ・「(同じ子どもがやることだから)自分もできそうだと思うこと」



これらのことを踏まえて、今後、教育活動の質を向上させるためにも、教科等の学習、学校行事等で子どもたち同士で教え、教えられる場面を意図的に設定することを通して、子どもたちのより一層の成長を促していきたいと考えています。

校長 梅田 典志(うめだ のりゆき)

# 5月の教育活動の様子



5月15日（金）に「1年生を迎える会」を行いました。全校遊びでは、上級生が1年生に優しく手ほどきしながら「伝言ゲーム」や「じゃんけん列車」を楽しみました。他にも、上級生からは歌、2年生からは手作りメダル、先生方からも歌のプレゼントがありました。1年生からは立派なお礼の言葉があり、とても素敵な会となりました。



5月14日（木）は火災を想定した避難訓練を行いました。みんな真剣な態度で訓練に臨む姿が見られました。校長先生の話も、しっかりと顔を上げて聞くことができました。

## 6月行事予定

日	日課	学校行事	日	日課	学校行事
1月	A	運動会特別時間割開始	16火	B	1年生5時間授業開始（毎日）
2火	B		17水	A	フッ化物洗口
3水	A	フッ化物洗口	18木	B	児童会 学校運営協議会
4木	B		19金	A	
5金	A		20土		
6土			21日		
7日			22月	A	PTA資源回収日
8月	A		23火	B	あいサポートキッズ養成講座6年
9火	B		24水	A	フッ化物洗口
10水	A	フッ化物洗口	25木	B	クラブ
11木	B		26金	A	遠足1～4年 定時退勤日
12金	A	定時退勤日	27土		
13土	B	開校150周年記念運動会	28日		
14日			29月	A	参観日5、6年 光洋中エリア授業見学
15月		振替休養日	30火	B	参観日1、2年、すみれ学級